

議題 3 報告事項

畜産に関する専門家ワーキンググループについて

畜産に関する専門家WGの開催状況

- ・ 畜産（肉用牛・乳用牛（酪農）・肉用豚）、飼料栽培等の知見を有する学識経験者等で構成。
- ・ LCAや飼養管理の観点から、畜産物の簡易算定シート作成に係る技術的な妥当性や生産現場におけるデータ取得等を含めた実現可能性について検討し、検討会に助言する。
- ・ 第1回：9/29、第2回：11/15に開催。第3回：2月～3月開催で調整中。

WGメンバー（敬称略、五十音順）

分野	氏名	所属・役職
肉用牛	大石 風人	・ 京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻 畜産資源学分野 助教
飼料栽培	大下 友子	・ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 研究リーダー
畜産LCA	荻野 暁史	・ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 高度飼養技術研究領域 スマート畜産施設グループ 上級研究員
団体(畜産全般)	迫田 潔	・ 公益社団法人中央畜産会 常務理事
酪農	寺田 文典	・ 元 東北大学大学院農学研究科 教授
酪農	日向 貴久	・ 酪農学園大学 農食環境学群 教授
肉用牛	廣岡 博之	・ 京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻 畜産資源学分野 教授

畜産に関する専門家WGにおける主要論点

- GHG排出寄与の大きさの観点から牛（肉用牛・乳用牛）の算定シートの開発を優先して着手。
- 標準値の地域設定や類型、飼料由来排出原単位の考え方、消化管由来メタンの算定、GHG低減技術の整理、排せつ物の資源循環、生産現場での負担感等を議論中。
- 肉用牛・乳用牛に分け、肉用牛は繁殖経営と肥育経営、肉用種・乳用種・交雑種で算定シートを作成する方向。

肉用牛

繁殖経営

肉用種

交雑種

乳用種



肥育経営

肉用種

交雑種

乳用種



乳用牛

畜産物のGHG排出原単位算定シート「データ入力シート」

項目	乳用種	肉用種	合計
飼料由来GHG排出原単位 (kg/kg)	1.00	1.00	1.00
消化管由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
排せつ物由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
合計GHG排出原単位 (kg/kg)	2.00	2.00	2.00

項目	乳用種	肉用種	合計
飼料由来GHG排出原単位 (kg/kg)	1.00	1.00	1.00
消化管由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
排せつ物由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
合計GHG排出原単位 (kg/kg)	2.00	2.00	2.00

項目	乳用種	肉用種	合計
飼料由来GHG排出原単位 (kg/kg)	1.00	1.00	1.00
消化管由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
排せつ物由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
合計GHG排出原単位 (kg/kg)	2.00	2.00	2.00

項目	乳用種	肉用種	合計
飼料由来GHG排出原単位 (kg/kg)	1.00	1.00	1.00
消化管由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
排せつ物由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
合計GHG排出原単位 (kg/kg)	2.00	2.00	2.00



項目	乳用種	肉用種	合計
飼料由来GHG排出原単位 (kg/kg)	1.00	1.00	1.00
消化管由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
排せつ物由来GHG排出原単位 (kg/kg)	0.50	0.50	0.50
合計GHG排出原単位 (kg/kg)	2.00	2.00	2.00

今後のスケジュール

2月下旬

第三回畜産専門家ワーキンググループ